



## 2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月13日

上場会社名 株式会社ヴィッツ 上場取引所 東  
 コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2020年8月期第3四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	1,647	△6.6	246	11.5	245	20.5	159	21.6
2019年8月期第3四半期	1,763	—	220	—	203	—	130	—

（注）包括利益 2020年8月期第3四半期 161百万円（20.1%） 2019年8月期第3四半期 134百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	39.29	38.39
2019年8月期第3四半期	42.43	41.34

- （注）1. 当社は2018年8月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2018年11月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 当社株式は2019年4月8日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年8月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新規上場日から2019年8月期第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	2,369	1,827	76.4
2019年8月期	2,233	1,683	74.6

（参考）自己資本 2020年8月期第3四半期 1,809百万円 2019年8月期 1,666百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年8月期	—	0.00	—		
2020年8月期（予想）				4.00	4.00

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,307	0.3	330	31.3	312	2.7	204	△11.1	50.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期3Q	4,054,000株	2019年8月期	4,054,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期3Q	30株	2019年8月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期3Q	4,053,981株	2019年8月期3Q	3,086,088株

（注）2018年11月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「2020年8月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」より日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等を巡る世界経済の先行き不透明感に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う生産活動の停滞や個人消費の失速など経済活動の大幅な落ち込みにより、厳しい状況が続きました。

このような経済環境の悪化を受け、主たる事業分野である自動車関連の組込ソフトウェアの業績に影響が出ている他、新型コロナウイルス感染症の影響により海外向けの開発の一部において、縮小、中止、延期等が発生しております。しかし、昨今の自動車技術の変革期においてCASE（Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric）対応に伴う自動運転を中心とした各種開発への需要は高止まりの状況にあり、CASE対応の自動運転/先進安全シミュレータ開発や組込セキュリティサービス等の先進・高付加価値事業へ集中して提案を進めてまいりました。

また、外注施策の厳格化、受注審議会による受注案件の精査などにより不採算案件の発生を防止する体制を強化すること等によって利益率の向上を図ってまいりました。

さらに今後の成長に向け、地方自治体と連携して、CASE対応の Services に関連した移動弱者を支援する地域密着型 Town MaaS (Mobility as a Service) への積極的な研究を推進し、新事業の創成に向けた取組を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,647,362千円（前年同期比6.6%減）、営業利益246,009千円（前年同期比11.5%増）、経常利益245,105千円（前年同期比20.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益159,278千円（前年同期比21.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### 1. 組込システム事業

当セグメントにおいては、自動車・産業製品向けの制御ソフトウェア、リアルタイムオペレーティングシステムなどのソフトウェアプラットフォーム提供、組込セキュリティなどの受託案件を行っております。経営成績の状況としましては、一部の主要顧客における開発縮小などの影響を受け売上高は前年同期比減となりましたが、前期上期において抱えていた不採算案件が解消されたことなどによりセグメント利益は改善されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は903,253千円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は240,364千円（前年同期比36.4%増）となりました。

#### 2. システムズエンジニアリング事業

当セグメントにおいては、自動車関連のシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供とデジタルコンシューマ機器向けの基盤技術提供を行っております。経営成績の状況としましては、期初における人事異動等により当セグメント内の一部のプロジェクトが組込システム事業に移管したため前年同期比で減収となったものの、利益率の改善施策などにより増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は557,350千円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は203,019千円（前年同期比5.6%増）となりました。

#### 3. 機能安全開発事業

当セグメントにおいては、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援と安全性の高いソフトウェア開発を行うためのソフトウェア開発プロセス作成の支援を行っております。経営成績の状況としましては、当セグメントの事業が市場経済の縮退の影響を先行的に受けやすいことに伴い、受注に至るまでの期間の長期化や受注規模の縮小などの影響を受けたため、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は127,215千円（前年同期比38.1%減）、セグメント利益は39,202千円（前年同期比60.4%減）となりました。

#### 4. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。主に株式会社ヴィッツ沖縄における工作機械向け案件の受注増のため前年同期比で増収となりましたが、一方で、両子会社において、将来のグループ全体の収益性向上に向けて人材の育成・増強や業務体制の改善コストを増加させており減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は116,314千円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益は13,055千円（前年同期比53.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、2,099,017千円（前連結会計年度末比6.5%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,724,145千円（前連結会計年度末比5.8%増）、受取手形及び売掛金184,057千円（前連結会計年度末比23.9%増）、仕掛品155,693千円（前連結会計年度末比6.1%増）であります。

固定資産は、270,517千円（前連結会計年度末比3.2%増）となりました。主な内訳は、有形固定資産31,749千円（前連結会計年度末比34.9%増）、無形固定資産11,678千円（前連結会計年度末比16.4%減）、保険積立金116,689千円（前連結会計年度末比11.4%増）であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,369,535千円（前連結会計年度末比6.1%増）となりました。

## (負債)

流動負債は、324,569千円（前連結会計年度末比5.4%減）となりました。主な内訳は、買掛金52,868千円（前連結会計年度末比15.3%減）、未払法人税等37,646千円（前連結会計年度末比39.4%減）、賞与引当金50,313千円（前連結会計年度末比44.2%減）であります。

固定負債は、216,990千円（前連結会計年度末比5.0%増）となりました。主な内訳は、長期未払金84,767千円（前連結会計年度末同額）、退職給付に係る負債122,994千円（前連結会計年度末比8.7%増）であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、541,560千円（前連結会計年度末比1.5%減）となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,827,974千円（前連結会計年度末比8.6%増）となりました。主な内訳は、資本金583,789千円（前連結会計年度末同額）、資本剰余金518,278千円（前連結会計年度末同額）、利益剰余金707,215千円（前連結会計年度末比25.4%増）であります。

## (3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

当第3四半期連結会計期間以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな開発案件において計画縮小や中止、開始時期の延期などが発生しており、今後の経過次第では、当社グループの業績への影響が拡大するリスクがあります。また、当社グループ企業内で感染者が確認された場合には開発リソースが不足するリスクなどがあります。

今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年7月3日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,628,916	1,724,145
受取手形及び売掛金	148,574	184,057
仕掛品	146,747	155,693
その他	47,215	35,870
貸倒引当金	△690	△750
流動資産合計	1,970,764	2,099,017
固定資産		
有形固定資産	23,543	31,749
無形固定資産	13,966	11,678
投資その他の資産		
保険積立金	104,780	116,689
その他	119,963	110,398
投資その他の資産合計	224,744	227,088
固定資産合計	262,254	270,517
資産合計	2,233,018	2,369,535
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	62,414	52,868
1年内返済予定の長期借入金	1,008	1,008
未払法人税等	62,169	37,646
賞与引当金	90,219	50,313
製品保証引当金	10,475	4,400
その他	116,732	178,332
流動負債合計	343,018	324,569
固定負債		
長期借入金	1,640	884
役員退職慰労引当金	5,287	6,467
退職給付に係る負債	113,098	122,994
長期未払金	84,767	84,767
その他	1,820	1,878
固定負債合計	206,614	216,990
負債合計	549,633	541,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	583,789	583,789
資本剰余金	518,278	518,278
利益剰余金	564,153	707,215
自己株式	—	△71
株主資本合計	1,666,220	1,809,211
非支配株主持分	17,163	18,763
純資産合計	1,683,384	1,827,974
負債純資産合計	2,233,018	2,369,535

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	1,763,375	1,647,362
売上原価	1,173,968	1,081,392
売上総利益	589,407	565,970
販売費及び一般管理費	368,682	319,960
営業利益	220,724	246,009
営業外収益		
保険解約返戻金	881	1,648
保険事務手数料	654	684
受取手数料	748	674
その他	66	155
営業外収益合計	2,351	3,163
営業外費用		
株式交付費	8,882	—
上場関連費用	10,423	—
支払手数料	—	4,000
その他	321	67
営業外費用合計	19,626	4,067
経常利益	203,448	245,105
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6,530
特別損失合計	—	6,530
税金等調整前四半期純利益	203,448	238,574
法人税等	69,089	77,204
四半期純利益	134,359	161,369
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,415	2,091
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,943	159,278

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	134,359	161,369
四半期包括利益	134,359	161,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,943	159,278
非支配株主に係る四半期包括利益	3,415	2,091

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	組込システム事業	システムズエンジニアリング事業	機能安全開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	944,719	580,849	205,596	1,731,165	32,209	1,763,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	68,848	68,848
計	944,719	580,849	205,596	1,731,165	101,057	1,832,223
セグメント利益	176,263	192,261	99,037	467,562	27,951	495,514

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,731,165
「その他」の区分の売上高	101,057
セグメント間取引消去	△68,848
四半期連結損益計算書の売上高	1,763,375

利益	金額
報告セグメント計	467,562
「その他」の区分の利益	27,951
全社費用(注1)	△285,082
その他の調整額(注2)	10,292
四半期連結損益計算書の営業利益	220,724

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	組込システム事業	システムズエンジニアリング事業	機能安全開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	903,253	557,350	127,215	1,587,820	59,542	1,647,362
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	56,772	56,772
計	903,253	557,350	127,215	1,587,820	116,314	1,704,134
セグメント利益	240,364	203,019	39,202	482,586	13,055	495,641

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

## 2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,587,820
「その他」の区分の売上高	116,314
セグメント間取引消去	△56,772
四半期連結損益計算書の売上高	1,647,362

利益	金額
報告セグメント計	482,586
「その他」の区分の利益	13,055
全社費用(注1)	△259,999
その他の調整額(注2)	10,368
四半期連結損益計算書の営業利益	246,009

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。